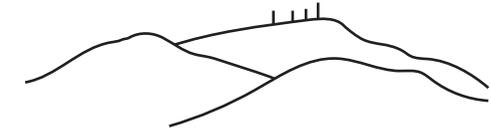


Youth Manna

2019/8/12 - 8/18



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/8/12(月)

マタイ 26:14-25

皆んなの前でわたしを裏切る者がいると言ったイエス様はどんな気持ちだったかな？イエス様の一番近くにいて愛してるはずの弟子ユダが、イエス様をお金で売って裏切ったことに怒りをぶつけるために言ったのかな？イエス様の願いは1 ユダが自分の罪を心から悔い改めること。2 その悔い改めによって他の弟子達も裏切る弱さを持っていることに気づき、十字架のご計画をもっと危機感を持って祈って備えること。だったよ。

イエス様がいつも一人を愛し赦し、群れも愛してくれていることに感謝し、私達も互いに愛し合い、赦し合おう！！

2019/8/13(火)

マタイ 26:26-35

パンはイエス様の体の象徴で、体が裂かれる苦しみを通して私達に与えられる救いと癒しを意味し、杯はイエス様の体から流される血の象徴で、私達の罪と汚れを血によってきよめ、すべての罪が赦されることを意味するよ。イエス様の死によって赦しが与えられて神様との関係が新しくされ御国の者とされるんだ！！ペテロや弟子達が裏切ると分かっていたのに、罪の赦しの道が開かれることをパン裂きを通して伝えたイエス様の愛は本当に大きいね。

イエス様はどんな時でもあなたを愛して赦そうと待っていてくれます！！心に赦しと癒しが更に与えられるように素直に祈ろう！！

2019/8/14(水)

マタイ 26:36-46

今日の箇所にはイエス様のどのような心が表されているのでしょうか。悲しみでしょうか。苦しみでしょうか。落胆でしょうか。決意でしょうか。そんなイエス様の心を知らずに弟子たちは眠ってしまいました。

イエス様は今日も生きておられます。イエス様は今日どんな心で私たちの隣におられるのでしょうか。私たちの選択はイエス様の心とどれだけつながっているのでしょうか。家族や友達への言葉がけ、勉強や仕事、家事、私たちの態度はどのくらいイエス様の心とつながっているのでしょうか。私たちはもう一度、イエス様の心とともに生きることを決意すべきです。静まって祈りましょう。

2019/8/15(木)

マタイ 26:47-56

今日の箇所では、裏切った十二弟子の一人ユダが、剣や棒を手にした大勢の群衆と共にイエスをとらえにゲッセマネの園にやってくる場所が書かれている。ユダの口づけを合図に人々はイエスをとらえた。弟子たちは抵抗したものもいたが、イエスが止められたあと、怖くなり逃げた。

これら全て(ユダの裏切り、最後の晩餐による過ぎ越しの新しい意味づけ、イエスの復活の予告、ペテロの裏切りの予告、ゲッセマネの苦闘の祈り、イエスの祭司長たちへの引き渡し、散り散りとなって逃げた弟子たちの姿)が聖書が実現するためであったとマタイは記している(54節)全ては神様の計画の中にある。今日、神様の導きを求め、神様に心を向けて歩もう！！

2019/8/16(金)

マタイ 26:57-75

イエス様を否定した人たちが書かれているね。前半の大祭司たちは偽証人や偽りの言葉でイエスを死刑にしようとしたけど、罪が一つもないイエスを死刑にできなかった。でもイエス様の言葉(64)によって死刑が決まり、十字架への道を進んだ。つまり正しいことによって進んだ十字架への道は、主のみこころによるものだとわかる。後半はペテロがイエスを3度知らないと言ったね。誓って(72)のろいを覚悟して(74)までイエスとの関係を切ろうとしたけどイエス様のことばを思い出して(75)激しく泣いた。私たちが神様を裏切ってしまったときでも、神様は私達を絶対に諦めず、言葉をかけてくださるお方です。そしてこのペテロのように、神様に立ち返ることができるのは、神様の深い愛とあわれみによることです。ローマ2章4節を読もう！！

2019/8/17(土)

マタイ 27:1-10

夜が明けてイエス様の死刑を確実にするために協議もたれた。そこにイエス様を裏切ったユダが自分の間違いを悔いてやってきたね。でもそれはイエス様のところじゃなく、祭司長たちのところで、ユダはお金を返すという自分の力で償おうとした。

私たちは自分の罪に気付かされた時、どこにいき、何をしようとするかな？結局、自分の力でどうにかしようとしたユダは、死という方法で終わらせてしまったね。でもそれは何にも解決になっていない。罪を赦す権威を持っているのは神様だけだからなんだ。

同じくイエス様を裏切ったペテロは、イエス様に立ち返り、悔い改めて、その後使徒として用いられた。罪を認め、イエス様のもとに行き、悔い改めることが真の赦しと解決になるね。私達も自分の罪に気づいた時、まずイエス様にそれを持って行こう！！

2019/8/18(日)

マタイ 27:11-26

ピラトはイエス様が何も悪いことをしていないことを知っていました。そこで彼はなんとかしてイエス様を十字架に引き渡さないようにするために格別極悪であったバラバを引き合いに出してイエス様の釈放を望みました。

しかし祭司長や長老たちはバラバの釈放を願うよう群衆を説き伏せ、群衆たちもイエス様よりもバラバの釈放を望みました。つまりは愛よりも罪を望んでしまったのです。このようなことを私たち人間はアダムの頃より行い続けているのです。

私たちのうちには、罪やこの世のものを望む心はないでしょうか？罪を望むのではなく、イエス様を望みましょう。罪による滅びではなく、愛による救いを信じましょう。